

東調布中学校改築事業における基本構想・基本計画に関するご質問等まとめ

★改築工事について

ご質問等	区の考え方
古い建物だが、アスベストは含まれているのか。解体時にアスベスト、粉塵を生徒が吸い込むことはないのか。	アスベストの含有については、今後の設計において詳細な調査を行います。調査の結果、含有が判明した場合は、大気汚染防止法や東京都環境確保条例を遵守し、飛散防止対策等講じながら解体工事を行っていきます。
工事車両の通行に際しては、早朝や通勤通学時間帯を避け、スピードを抑え安全に配慮してください。また、周辺の交通への影響も、極力通行に支障がないようお願いする。	作業時間は、日曜・祝日を除く午前8時から18時を予定しています。
仮設校舎と新校舎が離隔距離がなく接近していると、生徒の安全確保が困難ではないでしょうか？	工事エリアと生徒の生活エリアを仮囲い等で明確に区画しながら生徒の安全を最優先に工事を進めていきます。 また、仮設校舎は、昔のプレファブのイメージとは異なり、室内の床、壁、天井仕上げ、エアコン等の設備が完備し、耐震性能についても新校舎等と同等の性能を確保しております。
工事に携わる人達のマナー たばこの吸がらなど	工事請負業者に対しマナー遵守を徹底していきます。
道路調査のお願い この道を工事の廃材、排出時や建材配入時、工事車の出入り等に使用されるのであれば一度道路の状態を調査し、必要があれば改修していただけるようお願い致します。	工事による破損の場合は、調査を実施し適切に対処してまいります。
工事車両の待機所にならない様、ご配慮頂けますようお願い致します。	頂いたご意見を工事請負業者に対し周知徹底していきます。
工期が長いのに驚いた。 これだけかかる理由をわかりやすく記載して欲しい。	本改築計画は、学校施設の改築が軸となりますので、生徒への負担を最大限に軽減するため、中学校としての機能を止めることなく学校運営を優先した工程や工法を選定しています。
計画が長すぎる。本当にそれぐらいかかるのか。	外構整備まで、すべての工事期間は、約10年程度かかると想定しておりますが生徒が利用する学校部分を先行して建設し、その工事期間は約8年です。その後複合施設の建設に取りかかる予定でいます。
長期にわたる工事になりますので、事故などありませんようお願いいたします。	交通誘導員の適切な配置や登校時間中の工事車両通行禁止等の措置を行いながら、生徒及び近隣住民の方々の安全を最優先に工事を進めていきます。また、騒音・粉塵については、騒音規制法や東京都環境確保条例を厳守するとともに、低騒音の重機の使用や防音シート・養生シートの設置等の騒音・粉塵飛散低減を図りながら工事を行っていきます。
工事関係者や工事車両の出入りなどによる、安全性は保たれるのかなどの疑問がある。(不審者や、事故がないか。また、騒音、粉塵などによる健康面の影響は?) そのため、明確に記載し情報提供して欲しい。	
工事ステップについて ・工事車両については恐らく10トンダンプ等の大型車両が使われると思うが、基本的に大型車両が通行できない道路を通るのであるから、騒音や振動等の悪影響は甚大である。普通車程度の車両の出入りはともかく、特に10トンダンプ等の大型車両については近隣住民への影響が少ない小学校前からの出入りに限定出来ないか？ ・南側道路は一方通行で無く、交通量も多い。そこに大型車両が出入りすると相当な混乱が生じると予測される。交通整理についてどの様に考えているか？ ・南側道路は現在でも速度超過の暴走車が多いが、歩行者通路ができると更に道路が広がったと錯覚して暴走する車両が増える事が予測される。生徒同様、南側道路を利用する歩行者や自転車等の安全対策をどの様に講じるのか？	
工事に伴う工事車両、重機の出入りの誘導。通行人の安全確保。	
仮校舎建設や解体工事等工事ステップかつ期間が長い為、騒音や防音の対策についてご教示ください。近隣にある小学校や高校を含め生徒たちの学習に支障のないようお願いしたいです。	
防音対策などをどのようにとるつもりなのかをきちんと納得できるように説明してほしい。	
建設に伴う粉塵が通う子供達に影響を与えないこと	

★改築工事中の教育環境について

ご質問等	区の考え方
仮設校舎の具体的な案を知りたい。	仮設校舎の詳細は、設計において検討してまいりますが、空調機や電子黒板、放送設備や照明等も完備しており設備や内装は既存の校舎と同等の仕様とします。また、耐震性においても改築校舎と同等の性能を確保していきます。
安全面、設備面、環境面など様々な点において、生徒ができるだけ従来どおりかそれに近い学校生活を送れるようにしていただきたいです。	
3年間のうち1年はプレハブ校舎じゃない状態が欲しいです。	現在、仮設校舎を約5年間使用する計画であることから在学中すべての期間を仮設校舎で過ごす場合もありますが、既存校舎と同等の教育環境を確保するために対応してまいります。また、生徒及び近隣住民の方々の安全を最優先に工事を行います。
安全第一と生徒の教育環境特に3年間全てが工事中になる学年が複数あるので工夫してほしい。	
仮設校舎の一部は田園調布高校の校庭を借りられないか？	仮設校舎の設置を目的に田園調布高校の校庭を借用することは検討しておりません。
給食はどうなりますか？	改築工事期間中も給食提供を継続する予定です。
<ul style="list-style-type: none"> 校庭に仮設校舎が立っている期間は、体育や運動会など通常校庭を使用する学習や行事はどのように行われる予定でしょうか。 ステップ2、3の期間は、プールは使用できないのでしょうか。 	基本設計・実施設計の期間は、既存校舎で授業を実施します。改築工事期間中の体育の授業や運動会は、既存の体育館を利用することに加え、近隣校のグラウンドや河川敷の借用を検討しています。改築工事期間中はプールも使用不可となるため、近隣校のプールの借用を検討しています。屋外活動に関しては、詳細が決まり次第、新入生向け説明会や大田区HP等で別途お知らせいたします。
正直、子どもたちががっつり工期中に被ってしまうため、中学校の特色であるスポーツと学業の両立ができるのか心配です。他の学校へ通学することも今後視野に入れたい。ただ、今回この様な形で意見する場を作っていただき感謝しております。いろいろ大変なことあるかと思いますが、地域住民として応援しております。	
計画ではステップ2～4の約8年間校庭が全く使えません。体育館を使うということですが、学校の行事(とその練習)や全学年の体育等でどの程度のことできますか。常識的に考えてください。成長期の子供たちがしかも今後10年程度グラウンドを使わずに過ごすことが分かっていますか。私の子供は東中に入ったら、野球部に入って野球をやりたいと楽しみにしていました。この計画を聞き、大森七中に行きたいと言っています。例えば、体育の授業、部活での野球やソフトボールがどのようにできるか。	
仮設校舎建設後、体育の授業や部活動はどこでおこなう予定でしょうか。	
今度5年生になる子供の保護者です。校庭の体育の授業と休み時間の校庭の鬼ごっこが学校生活の楽しみで話してくれます。工程のスケジュールだと、子供が中学2年の時期に仮校舎が現校庭に出来る予定です。その間は校庭でする事はどのようになるのでしょうか。	
プールの利用可能時期についても言及されていない。	
成長期に日光を浴びる事は大切です。中学生だと小学生のように放課後外遊びすることはなくなると思うので、学校で外光に当たる時間を代わりに設けてもらえるようにしてほしい。	
基本設計・実施設計時は既存校舎で授業するのですか？その間、体育の授業(屋外の)や部活動(屋外の)はどうなりますか？既存の部活動、クラブ活動の一覧表とそれぞれの期間は、どこで活動又は中止etc分かる表を作って頂きたいです。	
工事期間中、特に仮設校舎を使用する期間、生徒の受入数は変わる予定でしょうか。	仮設校舎には、既存校舎と同じ普通教室数を設置します。そのため、生徒の受入数に変更はありません。また、指定校変更については、その年の学区の生徒数と教室数から受入れ可能人数が決まります。

★改築工事中の防災について

ご質問等	区の考え方
1)当地域での有事の際の避難所が東調布中学校となっているが、工事期間中の避難場所に変更が生じるのか？ 2)変更が生じる場合のスタート時期は、工事ステップの「ステップ1」からか？ 3)避難所として変更が無い場合、収容人数など制約が発生するのか？ 4)工事ステップ内に地域備蓄倉庫の記載が無いが、一時的に移設されるのか？	工事期間中に災害があった際も、体育館は使用可能であるため、避難所機能は継続します。校庭を使用することができない場合は、校舎内の安全なスペースでの待機となります。 避難所の収容人数等の変更は予定しておりません。 現在も学校防災活動拠点用の備蓄倉庫を学校内に設置しています。工事期間中は、仮設校舎の中に移設する予定です。竣工後は、学校防災活動拠点用の備蓄倉庫と地区備蓄倉庫の2種類の備蓄倉庫を併設して設置する予定です。
有事の際の避難場所・収容場所・現状との変更が生じる場合のアナウンス、アナウンス方法を周知していただきたい。	<参考> 学校防災活動拠点用の備蓄倉庫
工事期間中、避難所としての機能はどのようになるのでしょうか。	大田区内で避難所として指定されている全ての学校に設置されている備蓄倉庫で、現在の東調布中学校にも既に設置されています。
東調布中学校は災害時には避難場所となりますため、災害時への備えに支障のないよう計画を策定していただきたいです。	地区備蓄倉庫 学校防災活動拠点用とは別に主に地域用途として設置する備蓄倉庫です。
地区備蓄倉庫がどの工事ステップで整備されるのか明示して欲しい。	

★建設する建物について

ご質問等	区の考え方
ただ建て直すのではなく、今後のICT学習に相応しい近代化を行なってほしい。授業でパソコンを使うための電源、wifiやLANケーブルなど、	「大田区教育ICT化推進計画」に沿って、ICT教育の充実を進めております。今後のICT学習にむけ、タブレット学習に対応したWi-Fi環境の設置を予定しています。
鍵のかかるロッカーの導入などセキュリティも強化して欲しい。	鍵のかかるロッカーの設置は予定していません。
免震構造なのでしょうか？	免震構造ではなく、耐震構造を予定しています。
世の中の流れとして、車いすの方や様々な方のためにもエレベーターは必要なのでは？と思います。	エレベーターの設置を予定しております。
地域図書館棟には集会室を設置して有償で町内会の集会やサークル活動に貸し出して欲しい。	地域図書館には、サークル活動等を行える集会室を設置する予定です。
普通学級と特別支援学級の混合併設の維持は不可欠です。互いが自然に交流できる風通しの良い学校設計であってほしい。総生徒人数の想定をいかに設計に反映したかを教えてほしい。	普通学級及び特別支援学級を併設する予定です。10年間の将来推計に基づき、校舎規模を決定いたしました。
一学級あたりの規定定数によっては教室の床面積が今より小さくなってしまわないか。	普通教室や特別教室の面積は既存校舎と同程度の面積となります。
相談室・相談員控室は確保充実してあるのか。生徒間に相談内容が漏れないようにするにはそれなりの配置と設備が必要。	教育相談室を2室設置する予定です。
保健室の男女分離化はしてあるのか。	保健室を1室設置する予定です。
エアコン等冷暖房設備について教えてほしい。	普通教室や特別教室、体育館に空調設備を設置いたします。
5階建てに反対します。今子供の数が少なくなっています。その上南30の町会内でほとんど私立に進学しています。現在の3階建てでも、冬は洗濯物を外に干した事はありません。日が当たらず、屋内は昼も電燈をつけています。現在の3階建てでお願いします。南30番は学校より低くなってしまいます。学校だから我慢しているのです。	東調布中学校に必要な諸室を整備すると新校舎の規模は大きくなります。一方で、グラウンドも既存以上の大きさを確保する方針であることから、各戸配布した説明資料のとおり階数を予定しています。「建築基準法」の日影規制に適合させるとともに、「大田区中高層建築物の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例」に基づき、日照等について、さらに設計が進んだ段階で近隣の皆さまにご説明します。各部分の階数は各戸配布いたしましたゾーニングイメージをもとに設計を行っていきます。
現状の配置に出来ないのか？仮に体育館を移設するなら夜間、日曜、休日等は一般開放しないと決めてもらいたい。方針についても明らかにしてほしい。また体育館の遮音性についても日中はともかく夜間や日祝日に使用する場合には外部に音が漏れないような対策をどの様に考えているのかも明らかにしてもらいたい。遮音壁や防音壁の設置はどの様な計画か？	既存体育館とは別の位置に体育館を新設することにより、工事期間中も体育館が使用可能な環境を整備します。体育館の夜間・日曜・休日の一般開放に関しては、区における学習、文化、スポーツなどの地域活動の振興を図るために、学校教育に支障の無い範囲で区立小中学校の施設を開放する予定です。体育館の遮音性等について、今後の設計において検討いたします。
プールを5階にするのはなぜ？	必要諸室数やグラウンド面積等を総合的に検討した結果、プールを5階へ配置することいたしました。
校舎の配置について南向きに校舎を建てることに何のメリットがあるのか？	教室における日照確保の観点や、既存校舎に近い配置とすることで近隣住環境に与える影響を鑑み、校舎を南向きの配置としました。
ランニングコストがかからない次世代型庁舎にしたい。	高効率設備の設置等、ランニングコストを抑えた設計に留意します。

★建設する建物について

ご質問等	区の考え方
コンパクトな校舎に出来ないのか？	校舎を西側や東側にコンパクトに配置した案も含めて複数案の検討を行いました。その中で、東調布中学校においては教育環境や近隣への影響、工事中の環境等を総合的に判断し、現在の配置と近い配置案を採用しました。
東調布中学校改築の基本方針 南向きに適した教室も、美術室、理科室など、北向きに適した教室もあるので、一律にすべて南向きの教室である必要はなく、コンパクトに配置し、3学年の児童相互の交流が可能なレイアウトが望ましいと思われる。地域図書館が、学校建物と一体になっているような構成が、複合化における視点に合致するのではないか。備蓄倉庫は騒音の観点からも、線路側の配置がふさわしいのではないのか。	
現状の配置図及び改築後の配置案 建物を西側によせて配置し、東側に運動場を配置する案が、近隣に対する影響も改善するのではないのか。建物も4階建てとし、高さをおさえるべきである。建物が西側によると近隣の日陰への影響もより小さくなると思われる。原案では、3階建ての校舎の日陰が北側住宅に影響し、近隣に配慮したことにならない。	
改築の基本方針 地球環境や省エネルギーの観点からも外壁面が長い計画案よりもコンパクトな計画案の方がよいのではないのか。地域図書館を別館(4階建て)にするのではなく、一体の建物としワンフロアにした方が、使いやすいのではないのでしょうか。	
改築後の配置案 長い廊下よりも、教室が近接して配置され、生徒どうしが互いに親近感をもてるような配置が望ましい。コンパクトな中庭案も検討してほしい。普通教室は必ずしも南面かつグラウンド側でなくても、全体計画の中で、日当たりがよく、グラウンド側や他の施設の状況がよくわかる配置であればよいのではないのか。地域図書館が線路側4階建てよりも、中庭などはさんで、校舎と一体感がある方がよいのではないのか。	
ゾーニングイメージ 一つの案にこだわらず、多くの案を検討いただきたい。	
将来の周辺敷地の状況を予測しながら、あくまで実際に使用する生徒や先生にとって建築計画的に最もよい案を採用してほしい。	
環境への配慮を考慮した新しい学校像を実現してもらいたい。H22年に「公共建築物等における木材の利用促進に関する法律」が制定されましたが、これからの公共施設には木を積極的に活用できるように配慮してもらいたい。	建物の構造に関しては、鉄筋コンクリート造もしくは鉄骨造を標準としていますが、内部仕上げに関して、頂いた意見を参考に設計の中で検討いたします。
既存のバルコニーは生徒同士の交流に役立っていました。ぜひ安全に配慮しつつも、既存校舎と同様のバルコニーを計画に含めるように配慮ください。	頂いた意見を参考にさせていただきます。
延焼による生徒の被災防止に最大限配慮して教室と離れたレイアウトとすべきと考えます。	
災害時における避難者等への対応として(避難者を受け入れるのであれば)正門だけでなく北側にも出入口を作って頂ければ幸いです。	

★改築後の屋外環境について

ご質問等	区の考え方
完成後ですが各施設の入退場導線が概略どのようになりますか？	各施設の外部計画に関しては、基本設計・実施設計で検討してまいります。基本的な考え方としては、地域図書館・地区備蓄倉庫・東調布中学校のそれぞれの出入口を設置する予定です。
外構について 配置案では外構のイメージが全く不明である。 近隣への影響を考えた外構計画はどのようになっているのか？	外観および外回りに関しては、基本設計・実施設計において決定いたします。
どのような外観、また、外回り(エクステリア)になるのでしょうか？	
歩行者通路について 幅員2メートル以上となっているが南側道路は交通量も多いので子供の安全を考えればなるべく広い方が良い。特に小学校もあることから生徒の通行が多いので広い通路が必要。上記の通り図書館を建築しなければ更に歩道を確保できるはずである。 2メートル以上に出来ないか？	地域力を活かした大田区まちづくり条例等に基づき、学校関係者の皆様だけでなく、一般の歩行者も利用できる通路として、幅員2mの歩行者用通路を整備する予定です。
幅員2m以上の歩行者通路というのは、一般の人も使えるのでしょうか。	
校庭のトラックは一周100メートルを確保できるのか？	校庭のトラックの幅は基本設計、実施設計の中で検討していきますが、1周100mは確保する予定です。
屋上使用は可能なのか。	中学校における屋上使用は、生徒の安全面の観点から計画しておりません。
校庭自体の材質は？	グラウンドの活用の多様性も鑑み、グラウンドの舗装は「土」舗装とする計画です。
グラウンドの素材は？	
グラウンドどうせなら膜天井にして、全天候型にすればいいと思うが、さらに地下2階、3階にして、映画館、工作室、多目的ホールなど作ったらどうか？地下に避難所に設置することで都内最先端機能施設とする事はどうか？	グラウンドには屋根等の設置を予定しておりません。また、地下に避難所を設置することは予定しておりません。
プールが5階にあるとのことで、下の階への水漏れなどの対策 プールが5階にあるとのことで、上空から覗き見られない対策	下階への漏水対策は、基本設計・実施設計の中で詳細な検討を行いますが、屋上設置等の実績がある材料や施工方法の採用を予定しています。また、外部から覗かれることがないよう目隠しを設置する予定です。
東調布第一小学校か田園調布高校のプールと共有にするか、すぐ近くの「東急スイミングスクールたまがわ」と提携することでも充分に対応が可能です。体育館、武道場も同様です。	東調布中学校の改築事業では生徒の教育環境の整備のため、プール、体育館、武道場を設置いたします。
校外の屋内プール利用の方針を検討してほしい。	
適度な植栽をしてほしい。特に図書館が隣となるため、入口には配慮してください。	大田区みどりの条例に基づき緑化面積を計画しています。地域図書館と学校への出入口は明確に分離した計画を検討しております。
いまの植木や草花はとてもきれいなので、できるだけ踏襲してほしいです。	改築後の学校の樹木は、基本設計、実施設計の中で検討する緑化計画に基づき、整備いたします。
ヒマラヤ杉は可能な限り残すことにしていただきたい。	樹木の移植に関して、検討の上、適切に判断します。
現在は緑が結構あると思います。改築後も緑が残る様をお願い致します。	
段差を生かした美しく、広がりのある景観、美しい緑や季節の花々も効果的に配されていたので。せめてそんな自然は取り入れてほしい。	
工事の進捗状態によって仮の花壇の場所が移動してもよいのでぜひ工事中の期間でも花壇の場所確保をお願いいたします。	
現在の樹木はどうするのか？	
隣接の鉄道の騒音・騒動等の公害については、発生源のJRとどういう方向で話し合うのか。	新幹線等の通行による騒音等に関して、JRとの話し合い等は予定していません。学校に対する騒音対策等に関しては良好な教育環境を確保するべく設計において検討いたします。
今より高層化すると校舎と鉄道の間がより目が行かなくなり、犯罪が増えてしまうのではないかと。また北側の住宅に対する日照の問題が出るのではないかと。思い切って鉄道と学校の間を区道は廃止し、学校敷地として取り込み、その分橋からの裏側の道幅を拡幅するのはどうだろうか。	校舎と線路沿いの道には新たに提供歩道を設けるため、見通しがよくなる見込みです。校舎と線路沿いの道を廃止する予定はありません。詳細は設計において検討いたします。

★改築後の屋外環境について

ご質問等	区の考え方
<p>近年よく見られる外観上のルーバーは極力避け、検証結果に基づいたもののみとし、地域の風景に溶け込む、簡素なものとしたい。 お金を掛けるのであれば生徒が肌に触れる内装仕上げやトイレのデザインに比重を置きたい。</p>	<p>頂いた意見を参考にさせていただきます。</p>
<p>敷地周囲は高低差が厳しい坂で囲まれているため、メインアクセスをどちら側にするのか、バリアフリーの観点で慎重に計画を進めてください。 敷地内の大木の活積極的に活用できるようにしてもらいたいです。</p>	
<p>現在の状態よりも日当たりと騒音、臭いの環境が悪くならないように要望します。学校北側中心部は今と変わらず3階とのことですが、実際の高さが説明書ではわかりません。 新校舎については、学生さんの窓からの家の中のぞき込み対策(プライバシー)これからの建築は環境、自然のことを熟考したうえで計画を練るべきだ。</p>	
<p>現在の中学校の特徴である印象的な前庭のイメージを残してほしい。記憶の継承という事が大事で、現在ある建物の記憶がどこかに生かされることを配慮してほしい。記憶の継承は、建物のスタイルではなく、環境のイメージである。外構に配慮してほしい。</p>	

★複合化する地域図書館について

ご質問等	区の考え方
図書館サービスについては、地域住民の意見を踏まえて計画を進めてもらいたい。	今回いただいたご意見を参考にさせていただきながら図書館サービスの運用方法を検討いたします。
地域図書館を併設する計画で近隣の大田図書館はそのまま残りますか？大田図書館は大田区を中心館ですがその役割も変更はないですか？新たな地域図書館は指定管理者が運営しますか？	新しい地域図書館は、83,000冊の蔵書に加え、区内図書館で初の調べ学習室を設置する予定です。このような地域図書館を併設することが東調布中学校改築事業の特色であり、おおた教育ビジョンの基本的な視点の一つである「意欲にあふれ、個性と可能性を最大限に伸ばす学びの場を創出する」ことを具現化するとともに、生徒の学ぶ意欲を高め、良質な教育環境を整えることで学力の向上につなげます。また、現在の大田図書館は、バリアフリー等ユニバーサルデザインに適合していないため、バリアフリーに適合した地域図書館とし、利用者の利便性を高めます。
図書機能を見込む場合は、徒歩5分の場所にある、既存の大田図書館のあり方についても同時に計画した方が良いと思います。	○大田図書館から新しい地域図書館に移転する機能は以下のとおりです。 ・貸出カウンター、公開書架、児童コーナー ・閲覧室、対面朗読室 ・新聞雑誌コーナー、AVコーナー等
計画中に地域図書館とありますが、大田図書館の替りでしょうか。大田区立図書館HPでこの計画の説明は全くありません。策定と言っているが、区民に全く説明せずに既定事実として勝手に進めていく予定でしょうか。	○大田図書館に残す機能は以下のとおりです。 ・他図書館の統括機能、図書の配送機能、閉架書庫等
地域図書館を作る計画になっていますが、大田図書館との役割分担はどのように考えているのでしょうか？	○大田図書館には既存の大田図書館にはない新たな機能や設備等を設けるために必要な規模として、3階建ての建物を計画しています。 主な新たな機能や設備は以下のとおりです。 ・調べ学習室 ・エレベーター ・だれでもトイレ等
新設図書館は、現大田図書館の移設となるものでしょうか？その場合、大田図書館跡地はどのように利用される予定(計画)ですか？	○新しい地域図書館には既存の大田図書館にはない新たな機能や設備等を設けるために必要な規模として、3階建ての建物を計画しています。 主な新たな機能や設備は以下のとおりです。 ・調べ学習室 ・エレベーター ・だれでもトイレ等
改築後の基本構想に地域図書館とあるが近くに大田図書館が有ります。なぜこの場所に地域図書館が必要なのか分かりません。校内に図書室的な物が欲しい？のなら大田図書館で十分賄えると思います。地域防災施設位の物なら分かりますが、税金の無駄使いにしか見えません。	なお、新しい地域図書館の運営形態(指定管理者制度等)については現在のところ未定です。
すぐ近くに図書館があるのになぜ校内に図書館をつくるのでしょうか？その分校庭や体育館を広げたり出来るのではないですか？	なお、新しい地域図書館の運営形態(指定管理者制度等)については現在のところ未定です。
図書館について なぜ学校に必要なのか？理解できません。説明はないのですか？ただでさえ狭い学校なのに、なぜ？駐輪場はあるのか？学校周辺に車が止まり、生徒たちが危険なことがあるかもしれない。その場合どう対処されますか？落ち着いた環境ではなくなるのでは？大田図書館はどうなるのでしょうか？大田図書館があれば充分です。もっと子供達の運動ができるスペースを作ったほうが良いのでは？	なお、新しい地域図書館の運営形態(指定管理者制度等)については現在のところ未定です。
地域図書館、大田図書館があり、近くに2館の必要性がない。また、改築が必要ならば多摩川園せせらぎ公園に新設する方が駅に近く敷地も広大で利用者も便利である。今度の計画では広くなるのではなく、同じでは生徒達がかわいそうである。地域の人達と図書館を並立させることでは、不可能であり、住民たちはむしろ、子供達がスポーツをするグラウンドの確保の方が重要である。なお、敷地の方が拡大である7中の方に図書館を設置すべきである。	なお、新しい地域図書館の運営形態(指定管理者制度等)については現在のところ未定です。
地域図書館を設立する意義がわかりません。近くに大田図書館があり、地域住民はそちらを利用することが可能です。地域図書館を活用して具体的にどのような活動を想定されているのかをご教示ください。不特定多数の方が中学校に出入りするようになると、セキュリティ面も保護者として心配になります。大田図書館の意義もわかりづらくなります。	なお、新しい地域図書館の運営形態(指定管理者制度等)については現在のところ未定です。
「地域図書館」の計画がありますが、すぐ近くに「大田図書館」があるのに必要なのか、又、3階分もの大きなものが必要なのか。	なお、新しい地域図書館の運営形態(指定管理者制度等)については現在のところ未定です。
「地域図書館」の位置付けについて ・東調布中の図書室とは別物なのか。共有なのか(地域に学校図書館を開放？) ・既存の区立図書館(大田図書館)の移築なのか、新設なのか。 ・新設の場合、今後同様の学校付属の図書館を他にも作るのか。	東調布中には専用の学校図書室を設置し、地域図書館を併設する予定です。大田図書館の機能の一部を移設します。今後の学校に付属する図書館の設置に関しては、図書館の配置バランスも考慮しながら検討いたします。
地域図書館の建設が計画されているが、大田図書館の移設が計画されているのか。	現在の東調布中の移設に関しては未定です。
東中の改築には賛成です。今の住環境を守るため、緑(木など)を多く植えてほしい。ボランティアで学校の草花などを育ててくださっています。それらを続けられるように。地域図書館ができるということは、大田図書館はどうなるのでしょうか。大田図書館はこの地域の素敵なシンボリック存在です。緑に囲まれた静かな雰囲気はほかにはないと思います。大田図書館もかなり老朽化していますが大田図書館とそのまわりの緑は絶対に残していただくようお願いします。大田図書館の一角は大田区にとっても歴史的にも重要だと思います。私有地は(六郷用水沿い)木が切り倒され残念です。公共施設は自然を守ってください。	大田図書館周辺の緑の保全に関しては、今後の課題として検討してまいります。

★複合化する地域図書館について

ご質問等	区の考え方
複合施設として、図書機能が付加される場合、図書館利用者の駐車場スペースは敷地内に確保できるのでしょうか？確保できない場合は車では、来館することができなくなるので不便になります。	地域図書館は近隣にお住いの方が主に徒歩で来館することを想定しており、車いす専用駐車場を1台分のみ設置する計画です。
地域図書館ということですが、住民も利用できるの？	地域図書館は、生徒に限らず一般の方も利用可能です。
当校には関係のない住民ですが、説明資料により敷地内に「地域図書館」が作られることを知り、地域住民も使用できるものなのか等詳細に興味を持ちました。追ってまたこのあたりの情報も区民に公開いただけますと幸いです。	「嶺町地区のこどもの学びといきいきとした暮らしを支える生涯学習拠点」をコンセプトとした、地域住民も使用できる図書館を整備いたします。別紙「地域図書館の整備について」をご参照ください。地域図書館の詳細に関して、今後適切に情報提供してまいります。
図書館が学校敷地内に配置されることにより、不特定多数の方が学校敷地内に入ることが可能になると思いますが、防犯上、入り口を分け、校舎内及び校庭等の立ち入りができないよう、徹底してほしい。	地域図書館と学校への出入口は明確に分離し、学校建物へ地域図書館の利用者が立ち入らないよう防犯面に配慮した計画を検討しています。
図書館を一緒にするのは反対です。卒業生ですが、運動や合唱、吹奏楽なども昔から盛んで学力もすごいです。チャイム音や保安安全などの面をクリア出来るのでしょうか？建て替えはよいと思いますが、子供達が我慢したり窮屈になるのなら反対です。	地域図書館の複合化が教育環境へ影響を与えないように設計を進めてまいります。
地域図書館とは位置づけによっては面白いものになると思うが、学校図書館はなくなるという意味なのか当然図書館司書はいると思うが学校なのか区なのか、どちらの管轄に属するのか。近くに大田図書館があるが、本を並べるのが主な目的ならばたいして違いがなく意味がない。それなら特別支援学級の受け入れ規模を大きくして充実するとか、単純に学校としての使用範囲としたほうが良くないか。	学校図書室と地域図書館はそれぞれ設置する予定です。勤務する司書は相互に連携することで、本を介した学校と地域の交流の形成に取り組みます。運用方法の詳細に関しては、頂いた意見を参考にさせていただきます。

★改築後の防災機能について

ご質問等	区の考え方
地域備蓄倉庫は避難所用ですか？また備蓄の内容は概略どのようなものですか？	地区備蓄倉庫は、近くの補完避難所や福祉避難所で施設内備蓄ができない場合の補完倉庫としての機能や地域の給水及び給食資機材等の備蓄機能を担います。備蓄の内容は決定しておりませんが、クラッカーやアルファ化米などの食糧や給水用資機材等の備蓄を予定しております。
地域防災拠点や地域生涯学習拠点としての機能は、隣接する区立東調布第一小学校の改修計画と一体的に検討し、重複や不足のないように進めて欲しい。防災拠点としての施設については最新の知見を先取りした感染症対策を備えたものにして欲しい。	令和2年度に各学校防災活動拠点に感染症対策物品を配備し、備蓄物品の拡充を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染状況等を注視し、今後の状況に応じた対策や備蓄を行ってまいります。
一昨年の台風の時、高台の東一小学校の体育館に初めて(地域に住んで74年)初めて避難しました。区立中学校なのでこういうときに体育館を開放してください。これから南の住民は川の近くなので怖いです。温暖化が進んでいる中、考えてくださればと思います。毛布なども備えていただけたらと。災害日本なので。	
1階に避難者受け入れを想定した場所を。	避難所機能を担う学校として、適切に設計してまいります。
災害時の避難場所になるように、整備してもらいたい。防災備蓄倉庫の設置。	学校防災活動拠点用の備蓄倉庫に加え、地区備蓄倉庫を設置いたします。
地域防災拠点の機能についての大田区の方針と東調布中学校における具体的機能の案	東調布中学校は、震災時等の避難所や水害時緊急避難場所となります。改築工事期間中から改築後においても学校防災活動拠点を継続的に設置いたします。

★改築計画全般について

ご質問等	区の考え方
ステップ毎にどれくらいのコストが掛かるのか、また、その財源は？	今後の設計において詳細な検討を行ってまいります。
地球環境への負荷低減を配慮して欲しいです。また、検討した計画案の環境負荷および経済合理性も示して下さい。	太陽光発電設備の設置等による地球環境への負荷低減策を実施してまいります。詳細は設計において検討いたします。
住民説明会について コロナ対策の上、開催すべき。直ちにでは無くとも数か月後であれば可能である。地域の事を理解している者の意見を取り入れることが結果的に良い物が出て来る。多額の税金を投じて行う工事だからこそ必要である。開催しないのか？	今回の東調布中学校改築事業基本構想・基本計画のご案内については、住民説明会に代わるものであり、改めて説明会は実施いたしません。今後は進捗に応じて適切に周知・説明いたします。
公共施設マネジメントとありますが、具体的に説明して頂きたい。例えば、高齢者や保育園児も使える様な多角的な構想(今後生徒数が減少した場合における考え方として)生涯学習の場など。	公共施設マネジメントとは、今後の公共施設の管理に関する方針を定めたものです。東調布中学校の改築では、「効果的・効率的な施設マネジメント」として、区有施設の有効な利活用を推進するため、地域図書館・地区備蓄倉庫を設置いたします。地域図書館の複合化に関しては、別紙「地域図書館の整備について」をご参照ください。
将来の建替えについて 数十年後の建替えについてどの様に考えているのか？	大田区では、「大田区公共施設白書」「大田区公共施設適正配置方針」「大田区公共施設等マネジメント 今後の取り組み」をもって、「大田区公共施設等総合管理計画」と位置づけており、個別施設等の具体的な対応方針を定める基礎資料として、公共施設の整備計画に反映することで、効果的・効率的な施設マネジメントを推進してまいります。 大田区HPの以下のURLに掲載されておりますのでご参照下さい。
大田区の学校施設(または公共施設)の整備方針又は改築の基本施策の公開(HP上)と其中での東調布中学校での位置づけを説明してほしい。 [理由]今回は改修でなく、建て替えにみえます。これだけの長期間にわたる工事は生徒にとっても住民にとっても大変なことです。また、費用は概ねどれくらいを予定しているか、建替えるメリットは？目的は？と考えてしまいます。	https://www.city.ota.tokyo.jp/kuseijoho/ota_plan/sougou_keikaku/koukyoushisetsu_management.html
効率的かつ効果的な学校施設の整備(H31度文科省ガイドライン)の観点から 1)長寿命化、2)維持管理とライフサイクルコスト削減の具体化及び方針	また、東調布中学校については、校舎の大半が築60年近く経過しており、老朽化が顕著であるため、全面改築を行う方針です。工事費については、今後の設計において精査してまいります。
質の高い学校教育を支える施設・設備(東京都教育委員会)における次の視点での説明 1)耐震化、2)ブロック塀、3)国産木材の利用、4)空調設備、5)トイレ設備、6)太陽光発電LED証明、7)ICT利用(スマートスクール・災害対策から)、8)安全対策(防犯カメラ等)9)校庭の芝生化	ご質問の1)～8)の視点についてハード面に関するものは今後の設計等において対応していく予定です。9)校庭については、グラウンドの活用の多様性も鑑み、グラウンドの舗装は「土」舗装とする計画です。
そもそも老朽化とはどういう基準であるのか。	大田区では、築年数や校舎の耐力度を基準に改築事業に着手する学校を選定し、計画的に改築事業を推進してまいりました。東調布中学校の校舎は、築60年以上経過した校舎も存在し、構造躯体、仕上げ、設備等の劣化状況を総合的に検討し、老朽化していると判断しました。
鉄筋校舎の寿命が40年程とは納得しかねる。全改築となると相当な予算が組まれていると思うが、今度の建て替えでは以後何年くらい維持できることを想定しているのか。	工事費や外観については、今後の設計において詳細な検討を行ってまいります。
改築ではなく改修はできないのですか？	新しい校舎は、定期的な維持保全改修を行うことにより約80年以上維持することを想定しています。
中学にはPTA組織がありますが、これに加え近隣住民が積極的に参画できる仕組みをつくり、地域社会全体で子供を見守っていかねばと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 区では、地域全体で学校を支援する仕組みとして、区内の区立小・中学校に学校支援地域本部(スクールサポートおおた)を設置しております。学校により活動内容は異なりますが、「補習教室等の学習支援」、「花壇・芝生の管理等の環境支援」、「職場体験活動等の体験支援」などをボランティアで行っていただいております。詳しくは以下の問合せ先へご連絡ください。 問い合わせ先:東調布中学校 副校長 3750-4275
生徒や地域住民も参加したワークショップや意見交換会を開催し、様々な意見を踏まえて具体的な計画作りに進んでもらいたい。	頂いた意見は設計において実施できるか検討してまいります。

★その他事項について

ご質問等	区の考え方
<p>子供が就学予定で、在学中ずっと解体工事、建設中になると通わせるのが不安だが、越境で他校に通わせるなど、何か配慮はあるのか</p>	<p>「指定校変更申請審査基準」において、①地理的・身体的事由②家庭事情③転居④性格・友人関係⑤部活動等の指定校変更申請できる事由を定めています。改築工事を理由とした指定校変更はできません。</p>
<p>前提条件 体育館はなぜ工事期間中に一時期仮設であってはいけないのでしょうか。新幹線の騒音のことを考えると、現在の位置で体育館を配置するのが、全体計画上利点があると思われます。工事期間中、一時期新設の建物の一部を体育館として使用する方法もあると思われます。改築後の校庭は、以前と同じ位置にある必要はなく。全体計画上の配慮から、配置を決めてほしいと思います。</p>	<p>本改築計画においては、近隣環境への影響を考慮し、グラウンドや建物の形状は既存校舎と似た配置と致しました。そうした前提の中で、工事期間中の教育環境や工期の短縮などの観点を考慮し、仮設の体育館を設置しない改築計画と致しました。</p>
<p>休日など、学校での使用がない時には、近隣住民からの学校に対する理解を深めるためにも、グラウンドを貸し出すような仕組みが考えられるか？</p>	<p>区における学習、文化、スポーツなどの地域活動の振興を図るために、学校教育に支障の無い範囲で区立小中学校の施設を開放していますので、ご利用いただければと思います。</p>
<p>20-30年先を見据えた計画を立てて頂きたい。 人口増加率、将来の生徒数を予測した建物、教室。 建物の維持費は将来の税収で賄えるのか？ 教育方法の変化を考慮した教室のデザイン。</p>	<p>10年間の将来推計に基づき教室数を算定しております。また、建物の維持費に関しては、設置する設備などによって異なるため、効率的に運営できよう検討いたします。</p>
<p>長期間に及ぶ工事になることから、地域との情報共有を密に・確実にこなっていただきたい。</p>	<p>頂いた意見を参考に適切な周知方法を検討いたします。</p>

★その他の頂いたコメントについて

ご意見等 貴重なご意見として、承ります。

素敵な新校舎になりそうですね。
卒業生の息子はグラウンドに面した各教室のベランダがお気に入りでした。
楽しみです。

初代野沢校長先生の時在籍し、又実家も近くにありますので、よく散歩しながら当時を懐かしく思い出します。良い環境とすばらしい先生に恵まれ、多感な中学時代を東中で過ごせた事に感謝しております。これからの増々のご発展を祈っております。

総じて、現在の区職員の皆様では、考え方や発想に限界があることが露呈されていると思います。直近では田園調布せせらぎ公園に「せせらぎ館」が建築されてしまい、田園都市株式会社による開発当初からの特徴である貴重な自然が破壊されてしまいました。区民の声に耳を傾けずに税金を無駄使いした挙げ句に、自然破壊も加わり、近隣住民は非常に怒っています。いったん破壊された自然はそう簡単には戻りません。この怒りが消えていない中、区はさらに税金を無駄遣いしようとしています。
今の区職員の皆様の中に、斬新な発想ができて、想像力も豊かで柔軟に対応できる人材がいなければ、外部から新たに雇用してはいかがでしょうか。区職員より優秀な区民もたくさんいます。私たち区民は税金の無駄使いしか考えることができていない区職員の給料のために税金を納めている訳ではありません。ぜひ視野を広く持って考えてください。

私共の子供が学び、孫も学ぶ予定の施設である。大田区の設計事務所を選定いただき、他に誇れる施設とするよう配慮お願い申し上げます。資格経験についても独立前の事務所の経験や過去の物件の経験を認めてもらうようお願いいたします。

東側の第一種低層住居専用地域に接して、高い建物を建てることは避けるべきである。現況の東校舎は、道路境界線より12m離れているが、ゾーニングイメージ図によると、道路境界線から6m程度しか離れておらず、東側地区及び北側地区に面して、3又は4階建てを建てるのは、景観上も日陰上も、又風害なども悪影響が懸念される。建て替えることにより、ボリュームが大きくなるのであるから、今まで以上の配慮が必要と思われる。旧来のゾーニングイメージの改善をお願いしたい。

これからの時代は、小中一貫校として、一貫した教育を目指すべきである。長期的なビジョンをお願いしたい。

今回の基本構想・基本計画がすでに策定となっていることが驚きです。検討時に当時の保護者や近隣の住民が参加となっていますが、今後10数年に及ぶ計画に対し、今後保護者となる層への呼びかけや参加はあったのでしょうか。これから実際の通学者になる子どもたちの保護者たちの意見などは全く反映されていないのでしょうか。大田区HPを見ると令和2年12月までに教育委員会に計画策定の報告はありません。令和3年3月以降に報告したのでしょうか。又、区議会の文教委員会に報告はあったのでしょうか。更にはパブリックコメントは行ったのでしょうか。策定経緯が全く記されていません。この程度の資料ではなく、きちんとした(街の不動産案内程度ではない)資料を出してください。

なぜ現在のような広い面積、校舎にこだわるのでしょうか？
近い将来、新たな未知のウイルス発現による感染症が流行する可能性は高く、その際は現在の武漢ウイルス感染症より致死率が高く、治療薬の開発も困難であることが予想されます。その際、従来のように生徒全員を登校させて対面形式で授業をしていたら、多くの生徒が死亡してしまいます。武漢ウイルス感染症の流行に苦しんでいる現状から、もっと学んだほうが良いと思います。
つまり、従来のような広い敷地や校舎は、今後はもはや不要です。それよりも高性能のパソコンやタブレットを生徒全員に支給して、オンライン授業を充実させていくことの方が喫緊の課題です。親の貧困が子の貧困に相関しているとも言われています。
まずは、クラスの生徒を毎月いくつかの小グループに分け、対面授業とオンライン授業を組み合わせたハイブリッド授業から開始していきましょう。毎週小グループの掛け合わせを変えていけば、何通りもの組み合わせが生まれ、社会性も身につけていきます。将来、社会人になった時に求められるテレワークにも対応できる能力が中学生時代から身につけていくことでしょ。

なぜ税金の無駄使いだと思わないのでしょうか？本事業は税金の無駄使いだと考えられるため、直ちに中止してください。現在は既に少子高齢化社会に突入しており、少子化率、高齢化率は共に今後さらに上昇していきます。そのような中まず求められていることは、学校の統廃合による区の財政の改善です。
・東調布中学校と田園調布中学校を統合し、どちらかの土地を売却して売却益を得る。
・東調布中学校と大森第七中学校を統合し、どちらかの土地を売却して売却益を得る。
・東調布中学校の生徒を田園調布中学校、石川台中学校、雪谷中学校、大森第七中学校に割り振り、東調布中学校を廃校にし、東調布中学校の土地を売却して売却益を得る。
・東調布第一小学校、東調布中学校、田園調布高校の3つの敷地のうち1つの敷地に小学校、中学校、高校をまとめ、他の2つの土地を売却して売却益を得る。
小学校、中学校、高校がこれだけ隣接している箇所は他に例が無く、この環境を活かすべきである。これらのようにして得た売却益を活用して、社会福祉(高齢者福祉を含む)、医療を充実させていくことのほうが喫緊の課題です。